



令和元年 8 月 28 日

福生市 定例記者会見資料

資料 3-2

～子育て世代の外国人住民のための妊娠期からの切れ目ない支援を～

「テレビ電話多言語通訳サービス」を 子育て世代包括支援センターで導入します



福生市では、保健センター2階の「子育て世代包括支援センター」における多言語対応として、これまでの日本語通訳者に加え、すでに平成31年2月から総合窓口課で使用している「テレビ電話多言語通訳サービス」を導入します。

このサービスにより、子育て世代の外国人住民に対し、妊娠届出時面接からの適切な情報提供や妊娠・出産・子育てについての相談など、切れ目ない支援を提供します。

▼「子育て世代包括支援センター」について

母子保健事業に関する専門知識を有する保健師や、臨床心理士が常駐し、一人ひとりの状況に応じた、妊娠期から子育て期（主に未就学児）にわたる切れ目のないサポートを行うことを目的に、平成30年4月から保健センター2階にオープンしました。

■妊婦の約6人に一人が外国人。需要が高まるグローバルな行政支援

令和元年8月1日現在、福生市人口に占める外国人の割合は6.6%、25～34歳女性の福生市人口に占める外国人の割合は、14.5%となっています。また、平成30年度の妊娠届出、転入妊婦、母子健康手帳交付・再交付手続き計488件の内、外国人対応件数は76件（15.6%）にのびりました。

外国籍の妊婦は言語の違いから周囲と孤立しやすく、継続的な行政支援を必要としている現状です。

「テレビ電話多言語通訳サービス」の導入により、利用者に適切な情報提供と相談対応が可能となり、外国人住民も安心して相談できる体制を整えます。

■「テレビ電話多言語通訳サービス」の概要

【対象】 外国籍の妊婦と乳幼児およびその保護者

【内容】

- ・テレビ電話多言語通訳サービス用のタブレットを2台導入。
1台は子育て世代包括支援センター設置用、もう1台は訪問支援等にも対応できる持ち出し用。
- ・テレビ電話を通じて、コールセンターのオペレーターが、

▲三者通話のイメージ

対象者に応じた言語で通訳を行い、外国人住民・職員と三者通話が可能。

【対応言語】 13か国語（8月現在）

英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・フィリピン語（タガログ語）・タイ語・フランス語・ネパール語・ヒンディ語・ロシア語・インドネシア語

【導入時期】 10月予定

【問合せ】 健康課 子育て世代包括支援センター係 ☎042-552-0061

